

平成28年度財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸図書及び貯蔵品の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,685,958	588,000	0	2,273,958
40周年記念事業引当資産	900,000	300,000	0	1,200,000
木材保存学入門改訂4版引当資産	0	500,000	0	500,000
IRG日本大会開催引当資産	0	2,000,000	0	2,000,000
合 計	2,585,958	3,388,000	0	5,973,958

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産から の充当額)	(うち一般正 味財産から の充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	2,273,958	-	0	[2,273,958]
40周年記念事業引当資産	1,200,000	-	[1,200,000]	0
木材保存学入門改訂4版引当資産	500,000		[500,000]	
IRG日本大会開催引当資産	2,000,000		[2,000,000]	
合 計	5,973,958	-	[3,700,000]	[2,273,958]

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累 計額	当期末残高
什器備品(レジストグラフ)	1,438,500	1,303,640	134,860
合 計	1,438,500	1,303,640	134,860